

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ミツバ

コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部担当兼総務部担当 (氏名) 坂野 正芳

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,164	△11.8	56	△27.2	106	11.7	82	△21.2
24年3月期第1四半期	2,453	20.1	77	—	95	—	104	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 62百万円 (△35.6%) 24年3月期第1四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.37	—
24年3月期第1四半期	18.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	8,324	3,613	43.4	631.84
24年3月期	8,435	3,579	42.4	625.92

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,613百万円 24年3月期 3,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,638	△2.4	76	39.8	91	128.6	71	△31.1	12.41
通期	9,464	2.6	243	55.7	249	180.5	186	575.1	32.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3.「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	6,333,276 株	24年3月期	6,333,276 株
25年3月期1Q	614,214 株	24年3月期	614,214 株
25年3月期1Q	5,719,062 株	24年3月期1Q	5,760,395 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、電力不足懸念、欧州債務問題、円高の長期化、中国景気の減速など国内外に懸念すべき問題も多く、予断を許さない状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは生産・販売両面で顧客対応の充実を図り、販売量の確保に努めましたが、前年同期の東日本大震災にかかわる一時的な復興需要の反動などにより、売上高は2,164百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

利益面につきましては、生産性の改善や原価低減に取り組むとともに前期実施した経営改善計画による合理化効果もありましたが、売上高減少の影響が大きく、営業利益は56百万円（前年同期比27.2%減）となりました。経常利益は為替差益が52百万円発生したことにより、106百万円（前年同期比11.7%増）と増加しましたが、四半期純利益は投資有価証券評価損を30百万円計上したことにより、82百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

[電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けの需要は、前年同期の東日本大震災にかかわる一時的な復興需要が無くなったことにより低調に推移しました。このような状況のもと、個別案件の獲得や顧客対応の充実に努めましたが、売上高は1,368百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

利益面につきましては、コスト削減や販売価格の適正化に取り組みましたが、販売量の減少を補えず、セグメント利益は40百万円（前年同期比58.7%減）となりました。

[ポリマテック]

当事業に関係の深い住宅建設は、住宅着工戸数の増加の動きがみられるなか、建材・住設分野などの既存顧客における案件の獲得などに注力した結果、売上高は609百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

利益面につきましては、売上増加とともに生産性の改善やコスト削減などに取り組んだ結果、セグメント利益は5百万円（前年同期セグメント損失38百万円）と黒字に転じました。

[電熱線]

当事業は、世界的な景気低迷や長引く円高の影響により、国内向け、海外向けともに売上が減少しました。このような状況のもと、個別案件の獲得や新規顧客の獲得に注力いたしましたが、売上高は169百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

利益面につきましては、比較的付加価値の高い国内向け売上が落ち込んだことなどから、セグメント利益は11百万円（前年同期比63.6%減）となりました。

[その他]

その他に区分されている主要な商品である産業車両用LED照明灯や高機能チューブ関連商品につきましては、売上高は17百万円（前年同期比21.3%減）となりました。主な減収理由としては、従来の直接営業から販売特約店への販売に切り替えたことによるものです。

利益面につきましては、上記販売ルートの変更により、販売経費が減少したことから、セグメント損失は0百万円（前年同期セグメント損失2百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、8,324百万円（前連結会計年度末比110百万円減）となりました。流動資産は5,194百万円（前連結会計年度末比76百万円減）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加139百万円に対し、現金及び預金の減少79百万円や受取手形及び売掛金の減少159百万円等によるものであります。固定資産は3,129百万円（前連結会計年度末比34百万円減）となりました。有形固定資産は、取得による増加24百万円がありましたが、減価償却費37百万円等により2,789百万円（前連結会計年度末比2百万円増）となりました。無形固定資産は6百万円（前連結会計年度末比0百万円減）となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の評価損30百万円計上したこと等により333百万円（前連結会計年度末比35百万円減）となりました。

負債につきましては、流動負債が3,500百万円（前連結会計年度末比76百万円減）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金は42百万円増加しましたが、未払金の減少71百万円、短期借入金の減少45百万円等によるものであります。固定負債は1,210百万円（前連結会計年度末比68百万円減）となりました。主な要因は、長期借入金の減少71百万円によるものであります。この結果、負債合計は、4,710百万円（前連結会計年度末比144百万円減）となりました。

純資産につきましては、3,613百万円（前連結会計年度末比33百万円増）となりました。これは、利益剰余金の増加53百万円と為替換算調整勘定の減少16百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において、経常利益および四半期純利益が第2四半期累計期間の数値を超過しておりますが、為替相場等の不透明要因があるため、平成25年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

前年連結会計年度において、2期連続営業キャッシュ・フローがマイナスとなり、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しています。

しかしながら、期間損益については、前年連結会計年度において黒字化を達成するとともに、当第1四半期連結累計期間においても利益を計上しております。また、営業キャッシュ・フローは当第1四半期連結累計期間においてプラスになったことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断し、財務諸表における継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	592,228	512,429
受取手形及び売掛金	3,197,938	3,038,296
商品及び製品	838,349	968,066
仕掛品	221,740	227,029
原材料及び貯蔵品	318,657	323,537
その他	103,335	125,934
貸倒引当金	△677	△599
流動資産合計	5,271,574	5,194,693
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,939,244	1,942,363
その他（純額）	848,454	847,350
有形固定資産合計	2,787,699	2,789,714
無形固定資産	7,063	6,528
投資その他の資産		
投資有価証券	324,860	291,582
その他	49,366	47,061
貸倒引当金	△5,086	△5,086
投資その他の資産合計	369,140	333,557
固定資産合計	3,163,903	3,129,800
資産合計	8,435,478	8,324,494
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,076,021	1,118,645
短期借入金	1,510,000	1,465,000
未払法人税等	18,486	9,788
未払費用	31,179	103,019
賞与引当金	75,866	50,642
その他	865,530	753,616
流動負債合計	3,577,083	3,500,712
固定負債		
長期借入金	727,805	656,416
退職給付引当金	256,377	265,427
役員退職慰労引当金	257,630	254,578
その他	36,930	33,830
固定負債合計	1,278,743	1,210,252
負債合計	4,855,827	4,710,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	1,406,207	1,459,781
自己株式	△148,137	△148,137
株主資本合計	3,528,184	3,581,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,189	27,117
為替換算調整勘定	21,276	4,653
その他の包括利益累計額合計	51,466	31,770
純資産合計	3,579,651	3,613,529
負債純資産合計	8,435,478	8,324,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,453,628	2,164,820
売上原価	1,961,090	1,747,007
売上総利益	492,537	417,812
販売費及び一般管理費	415,403	361,688
営業利益	77,133	56,124
営業外収益		
受取利息	80	94
受取配当金	4,536	4,305
受取家賃	3,088	743
仕入割引	2,516	1,964
為替差益	19,071	52,393
その他	3,598	4,351
営業外収益合計	32,892	63,851
営業外費用		
支払利息	9,711	9,609
売上割引	3,616	3,283
その他	1,225	472
営業外費用合計	14,554	13,365
経常利益	95,472	106,610
特別利益		
固定資産売却益	—	9
保険解約返戻金	15,165	—
特別利益合計	15,165	9
特別損失		
固定資産除却損	132	687
投資有価証券評価損	—	30,157
特別損失合計	132	30,845
税金等調整前四半期純利益	110,505	75,774
法人税、住民税及び事業税	8,004	11,981
法人税等調整額	△1,777	△18,376
法人税等合計	6,226	△6,394
少数株主損益調整前四半期純利益	104,279	82,169
四半期純利益	104,279	82,169

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	104,279	82,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,808	△3,072
為替換算調整勘定	△3,506	△16,623
その他の包括利益合計	△7,315	△19,695
四半期包括利益	96,964	62,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,964	62,473

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電線	ポリマテック	電熱線	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	1,650,836	576,658	203,495	2,430,989	22,638	2,453,628
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	850	—	562	1,412	2,953	4,366
計	1,651,686	576,658	204,057	2,432,402	25,592	2,457,994
セグメント利益 又は損失（△）	97,837	△38,966	30,256	89,127	△2,174	86,952

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、高機能チューブ関連商品、LED関連商品及び賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	89,127
「その他」の区分の利益	△2,174
全社費用（注）	△9,818
四半期連結損益計算書の営業利益	77,133

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電線	ポリマテック	電熱線	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,368,039	609,323	169,631	2,146,994	17,825	2,164,820
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,738	304	3,060	6,103	—	6,103
計	1,370,778	609,627	172,691	2,153,097	17,825	2,170,923
セグメント利益又は損失（△）	40,436	5,662	11,025	57,124	△348	56,775

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、高機能チューブ関連商品、LED関連商品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	57,124
「その他」の区分の利益	△348
全社費用（注）	△651
四半期連結損益計算書の営業利益	56,124

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。